

第23期（2008年3月期）

# 第3四半期財務・業績補足説明資料

2008年1月31日

サイバネットシステム株式会社

代表取締役社長 田中邦明

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

- ◆顧客業界の動向
- ◆2008年3月期第3四半期業績・財務の概況
- ◆2008年3月期業績予想
- ◆添付資料（個別業績情報）



第23期（2008年3月期第3四半期）

# 顧客業界の動向

つくる情熱を、支える情熱。

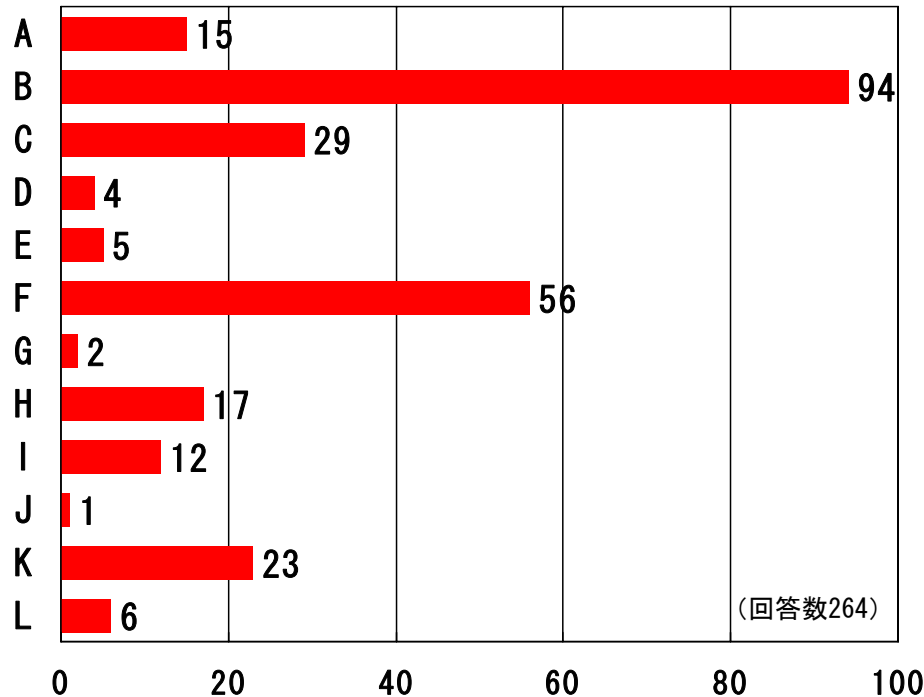
**CYBERNET**

## 2008.3第3四半期のトピックス

自動車関連	<p>主要車種に重量削減目標を設定し、燃料消費効率の向上（トヨタ自動車）                  2020年代までに全車種にハイブリッド<sup>®</sup>を搭載（トヨタ自動車）                  2009年8月稼働予定のハイブリッド<sup>®</sup>技術や低公害型エンジンを開発する施設の建設計画が本格化（トヨタ自動車）                  2008年にも福岡県に車載用システムの開発拠点を開設（アイシン・コムクルーズ）                  2010年にハイブリッド<sup>®</sup>車比率を10%（ホンダ）</p>
半導体 プリント基板関連	<p>露光工程が原則一回で済む、30ナノ台半導体メモリに新製造技術を導入（東京エレクトロン他）                  次世代LSIの品質ばらつき原因解明し、回路設計の効率化へ（半導体先端テクノロジーズ他）                  32ナノシステムLSIの製造技術を共同開発（東芝・NECエレクトロニクス）</p>
表示装置光学関連	<p>有機ELのトッキを子会社化（キヤノン）                  有機EL素子の寿命が従来の9倍に延びる技術を開発（北陸先端大）                  有機EL素子を点滅させてデータを送信し、携帯電話で受信する可視光通信システムを開発（信州大学、フジクラ）</p>
制御関連	<p>次世代の自動車用マイコンと基本OSを共同開発（NEC、NECエレクトロニクス）</p>
産業工作機械関連	<p>半導体生産用の最先端露光装置を投入（キヤノン）                  最新型半導体ステッパーの「液浸ステッパー」を約3割増産（ニコン）</p>
電池関連	<p>電池の生産面における新基準を策定し、検査の厳格化（経済産業省）                  燃料電池の寿命が2倍に延びる電解質の劣化を防ぐ技術を開発（日立マクセル）</p>
CAD関連	<p>金型メーカーが三次元CAD導入で開発リードタイム短縮化（豊洋エンジニアリング）                  二次元から三次元に表示できるCADソフトを発売（アンドール）                  独コクリエイト・ソフトウェアを買収（三次元CADソフト大手米PTC）                  自動車向け金型のCAD/CAMの活用を強化（積水工機製作所）</p>
IT関連業界	<p>今後、シンクライアント市場の伸長に伴いサーバ系ソリューションの需要増大</p>

# 顧客業界の動向（デジタルエンジニアリングの現状）

CYBERNET



出展 2008年1月8日 日刊工業新聞  
※記事の著作権は日刊工業新聞社に帰属する

- A. 全ての工程で3次元データによる一気通貫を実現または近い将来実現できる
- B. **3次元CADはほぼ定着し、作成したデータの他の工程への展開推進中**
- C. 3次元CADはほぼ定着しているが、その他は検討中
- D. 3次元CADはシステムの拡充や選択も取引先の意向に従って進める
- E. 3次元CADはシステムの拡充や選択も取引先の意向に従って進める。だが、データの品質の問題などの課題を抱えている
- F. 3次元CADは2次元CADを補完するもの。当面は2次元CADでの設計が中心となる
- G. 3次元CADはCAM用途に使用
- H. **3次元CADは解析モデルの作成に利用**
- I. 3次元CADを導入し始めたばかりで、施行中
- J. いまの3次元CADに問題点があるため、リプレースを検討中
- K. 2次元CADのみで業務を遂行、効率的に活用
- L. その他



第23期（2008年3月期）

# 2008年3月期第3四半期業績・財務の概況

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

# [連結] 第3四半期の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3第3四半期		08.3第3四半期				
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	計画	計画比
売上高	13,106	100.0%	14,642	100.0%	111.7%	14,680	99.7%
売上総利益	4,895	37.4%	5,652	38.6%	115.5%	5,615	100.7%
営業利益	1,306	10.0%	1,378	9.4%	105.5%	1,115	123.6%
経常利益	1,540	11.8%	1,529	10.4%	99.3%	1,175	130.2%
第3四半期純利益	845	6.5%	845	5.8%	100.1%	781	108.3%

## (1) 売上高

第3四半期の売上高は全般的に堅調に推移し、計画をほぼ達成することができ（計画比99.7%）、前年同期比で11.7%増加となりました。

## (2) 収益

- ①第1四半期に実施した本社移転に関わる一過性費用および事務所経費が増加しましたが、経費圧縮により営業利益は前年同期比5.5%増益となりました。
- ②資金運用および為替ヘッジにより、為替変動リスクへの対応をしています。
- ③中間期において、子会社株式評価損に伴うのれん一括償却138百万円を特別損失として計上しています。

# [連結] 販売費及び一般管理費

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3 第3四半期期	08.3 第3四半期期	増減	前年同期比	売上比	内容
人件費	1,730	1,915	185	110.7%	13.1%	増員+18名（サイバネット+16名、KGT+2名）
通信費	131	131	△0	99.8%	0.9%	
旅費交通費	198	191	△6	96.6%	1.3%	
備品消耗品費	81	185	103	227.1%	1.3%	本社移転に伴う増加
募集採用費	65	63	△2	96.8%	0.4%	
教育研修費	43	40	△3	91.8%	0.3%	
地代家賃	205	484	279	236.0%	3.3%	本社移転に伴う家賃増加（月額 51: +30）
電算機等保守料	32	43	11	134.3%	0.3%	
減価償却費	79	142	63	180.0%	1.0%	本社移転に伴う新規取得固定資産の償却分
のれん償却	81	74	△7	90.7%	0.5%	京浜アートワーク 34、KGT 15、プラメディア23
広告宣伝費	401	412	11	102.9%	2.8%	
業務委託費	232	240	7	103.1%	1.6%	
支払手数料	132	157	24	118.6%	1.1%	本社移転関連+21
その他の経費	171	191	19	111.6%	1.3%	
合計	3,588	4,274	685	119.1%	29.2%	



# 為替変動及び原価率差異について（個別）

CYBERNET

## ◆ 当第3四半期の為替の状況

- 前年同期実績計上レート差異 +1.58円/USD (115.85円/USD ⇒ 117.43円/USD)
- 予算レートとの差異 Δ0.57円/USD (118.00円/USD ⇒ 117.43円/USD)
- 調達レート 114.52円/USD (予算レート差異3.48円/USD)

## ◆ 売上総利益の増減要因

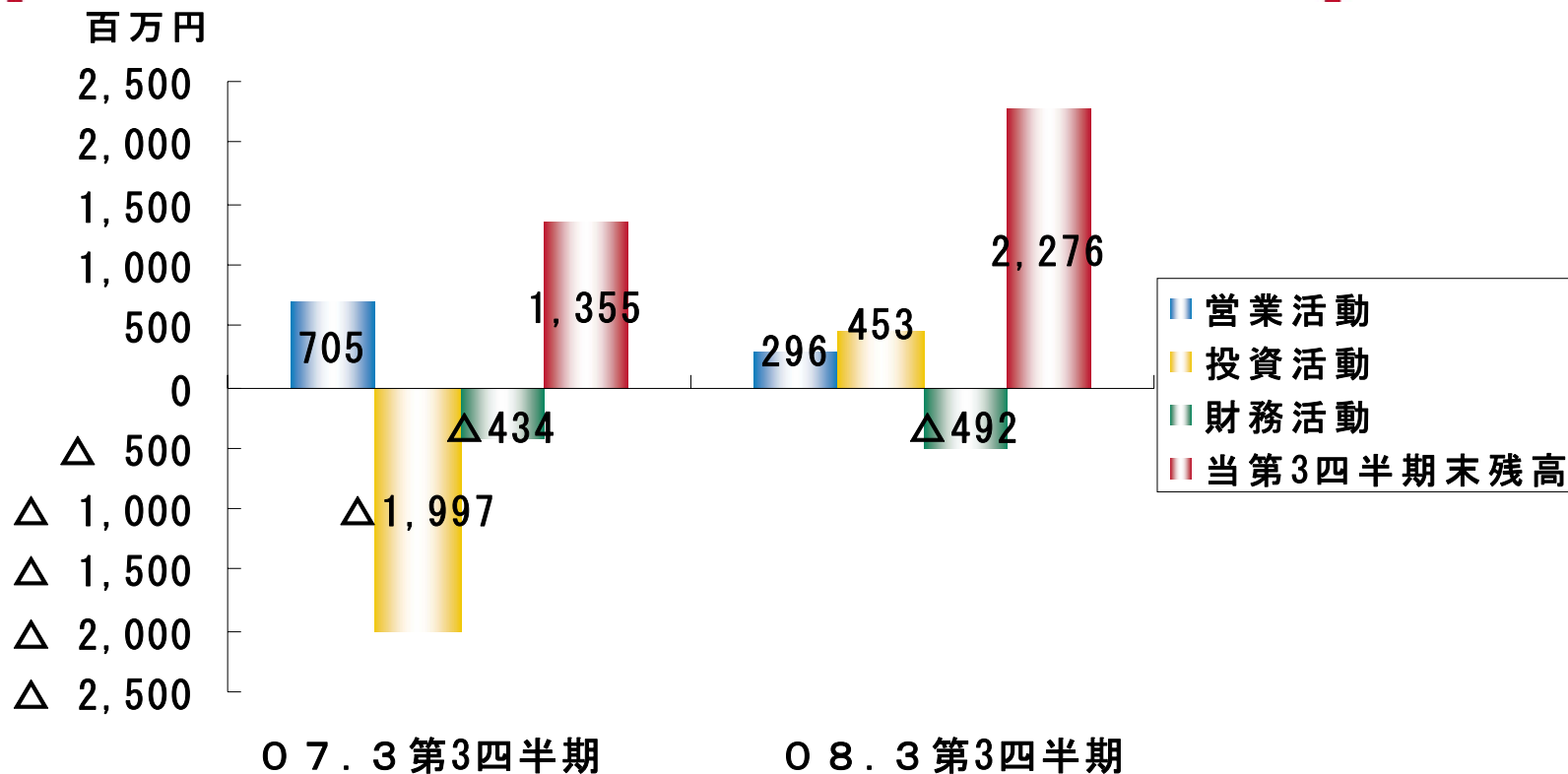
- 為替変動によるもの Δ 61百万円
- 原価率増減によるもの + 94百万円
- 売上高増加によるもの + 781百万円
- 技術サービス原価増加によるもの Δ 143百万円 (社員数27名増加)
- 合計 + 670百万円

## ◆ 当第3四半期期の為替差損益

- 外貨預金評価損益 37百万円
- 買掛金評価損益 30百万円
- 決済時損益 38百万円
- 為替予約評価損益 Δ 61百万円
- 合計 44百万円

# [連結] キャッシュ・フロー

CYBERNET



## 営業活動

税金等調整前当期純利益	+ 1,384
減価償却費	+ 298
のれん償却額	+ 74
のれん償却額(特別損失)	+ 138
売掛債権の増減額	+ 994
仕入債務の増減額	△ 910
未払費用の増減額	△ 104
法人税等の支払額	△ 1,360

## 投資活動

有形固定資産取得による支出	△ 477
無形固定資産取得による支出	△ 281
有価証券の取得・償還による支出・収入	+ 997
有価証券の解約による収入	+ 1,969
投資有価証券の取得・払戻による支出・収入	△ 1,945

## 財務活動

配当金の支払	△ 504
--------	-------

# 四半期別の業績

CYBERNET

07.3

(単位：百万円)

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	4,918	(+11.8%)	4,389	(+5.2%)	3,797	(+17.4%)	5,891	(+5.4%)
売上高構成比	25.9%		23.1%		20.0%		31.0%	
営業利益	603	(△11.0%)	485	(+1.8%)	217	(—)	1,233	(+2.6%)
経常利益	633	(△10.8%)	624	(+23.8%)	281	(+989.0%)	1,287	(△1.5%)
税引等調整前四半期純利益	633	(△10.8%)	613	(+23.2%)	285	(+1,106.5%)	1,075	(△15.0%)

08.3

(単位：百万円)

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	見込	前年同期比
売上高	5,650	(+14.9%)	4,582	(+4.4%)	4,410	(+16.1%)	6,857	(+16.4%)
売上高構成比	26.3%		21.3%		20.5%		31.9%	
営業利益	677	(+12.2%)	383	(△20.9%)	317	(+45.9%)	1,261	(+2.2%)
経常利益	679	(+7.3%)	510	(△18.3%)	337	(+20.5%)	1,190	(△7.5%)
税引等調整前四半期純利益	678	(+7.1%)	368	(△40.0%)	337	(+17.9%)	1,424	(+32.5%)

# [連結] ソリューション別損益の概況

CYBERNET

07.3

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
売上高	11,086	84.6%	100.0%	2,023	15.4%	100.0%	△2	13,106	100.0%
営業費用	8,629	—	77.8%	1,959	—	96.8%	1,211	11,799	90.0%
営業利益	2,457	—	22.2%	63	—	3.2%	△1,214	1,306	10.0%

08.3

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
売上高	12,876	87.9%	100.0%	1,782	12.1%	100.0%	△16	14,642	100.0%
営業費用	9,951	—	77.3%	1,735	—	97.4%	1,577	13,264	90.6%
営業利益	2,924	—	22.7%	46	—	2.6%	△1,593	1,378	9.4%

## CAEソリューション

- (1) 制御系分野が、自動車、電機メーカーを中心に販売が好調でした。
- (2) フラットパネルディスプレイ市場向けの照明解析ソフトウェアの販売が好調でした。
- (3) 受託解析サービス収入は、機械系とエレクトロニクス系分野で需要が拡大し好調でした。
- (4) 可視化における医用画像ソフトウェアも堅調に推移しました。

## ITソリューション

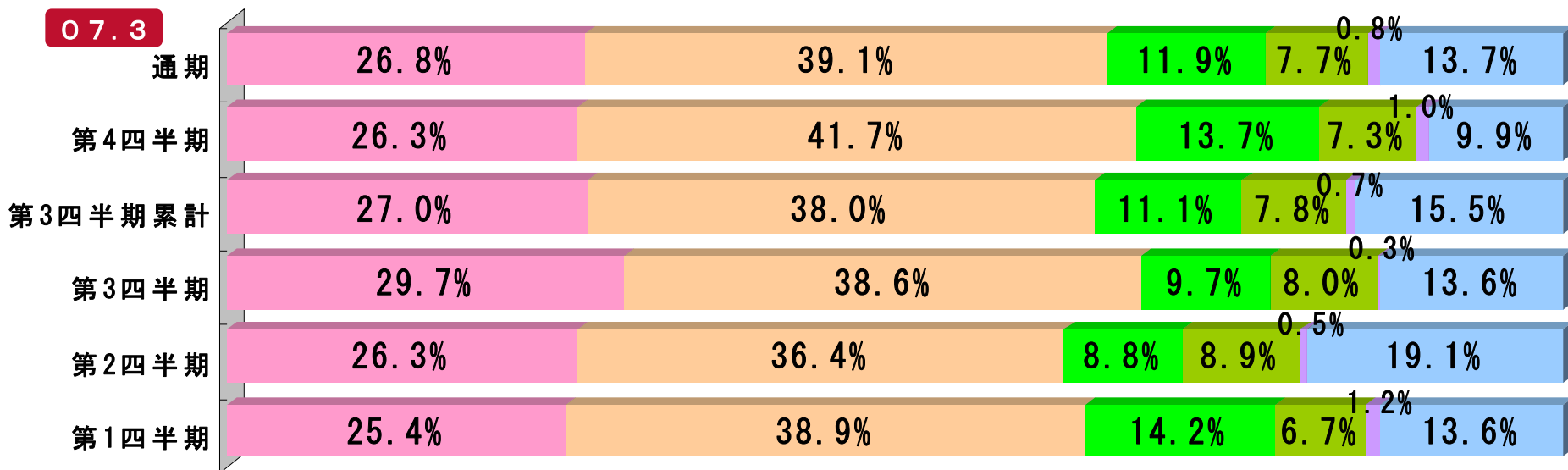
- (1) 業務パフォーマンス改善ソフトウェアが一般ビジネス分野へ導入及び簡易機能版が好調でした。
- (2) 内部統制リスク管理システムの販売が堅調に推移し、収益に大きく貢献しました。
- (3) 当ソリューションの売上高減少は昨年9月にウィルス対策ソフトウェアにおける大口顧客との取引を失ったものですが、他商品への人的資源転換により、収益の改善が図れました。

# [連結] 応用分野別売上高シェア

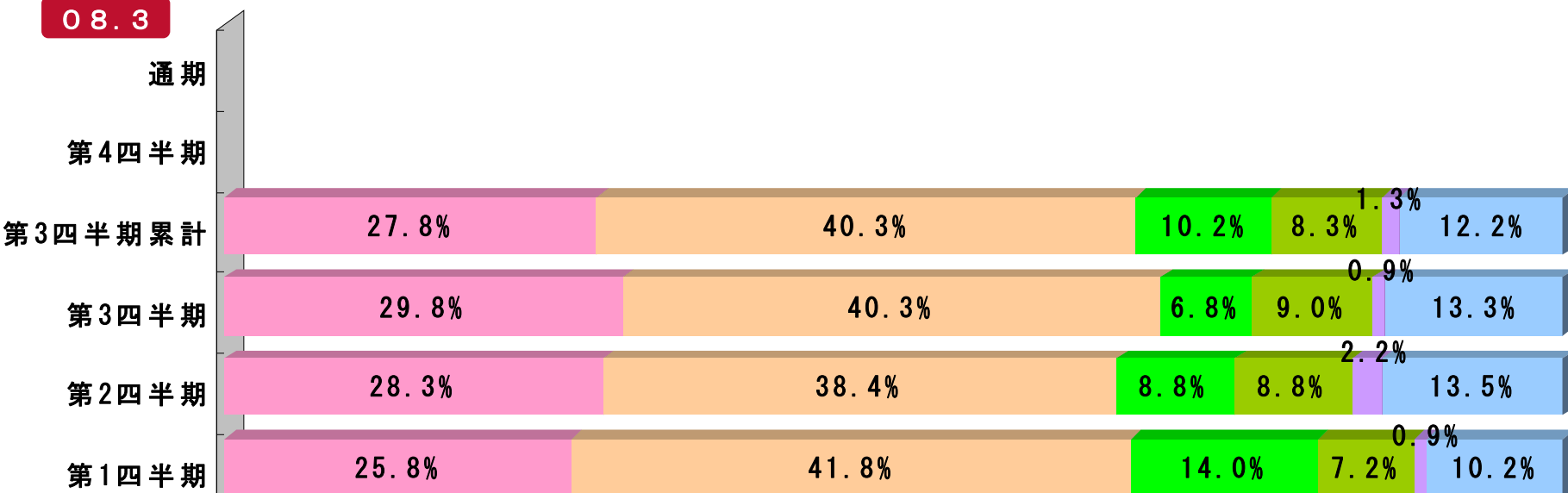
CYBERNET

■ 機械系 ■ 数値・制御・通信系 ■ 光学・照明系 ■ 回路設計系 ■ 新規CAE ■ ITソリューション

07.3

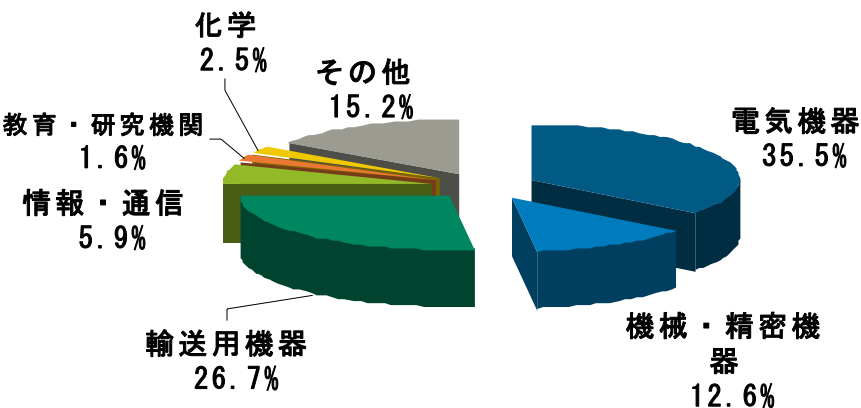


08.3

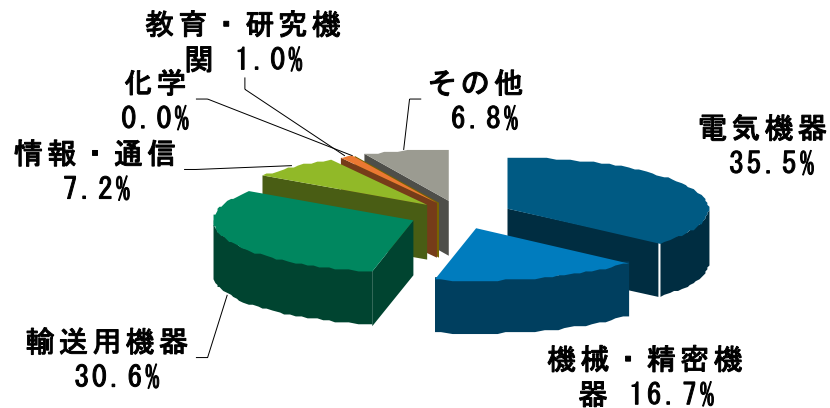


# [連結] 業種別売上高シェア（上位50社）

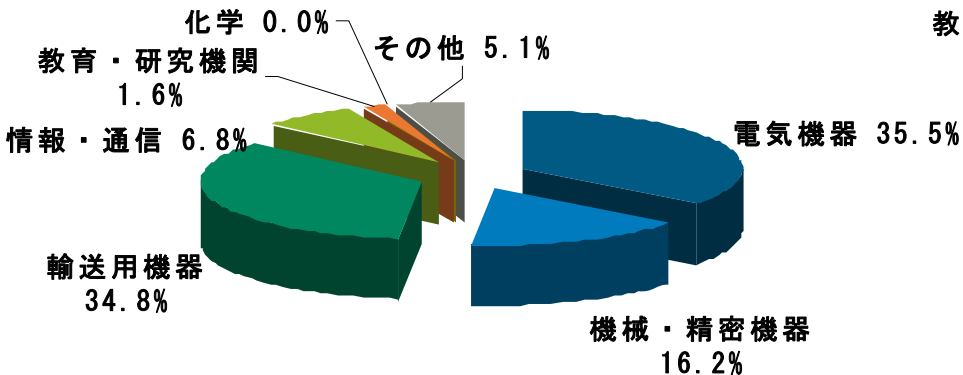
07.3 中間期



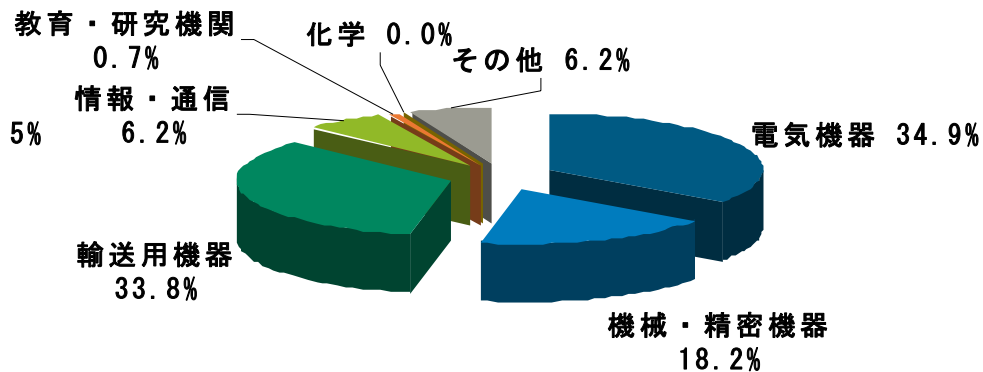
07.3 第3四半期期



08.3 中間期



08.3 第3四半期期

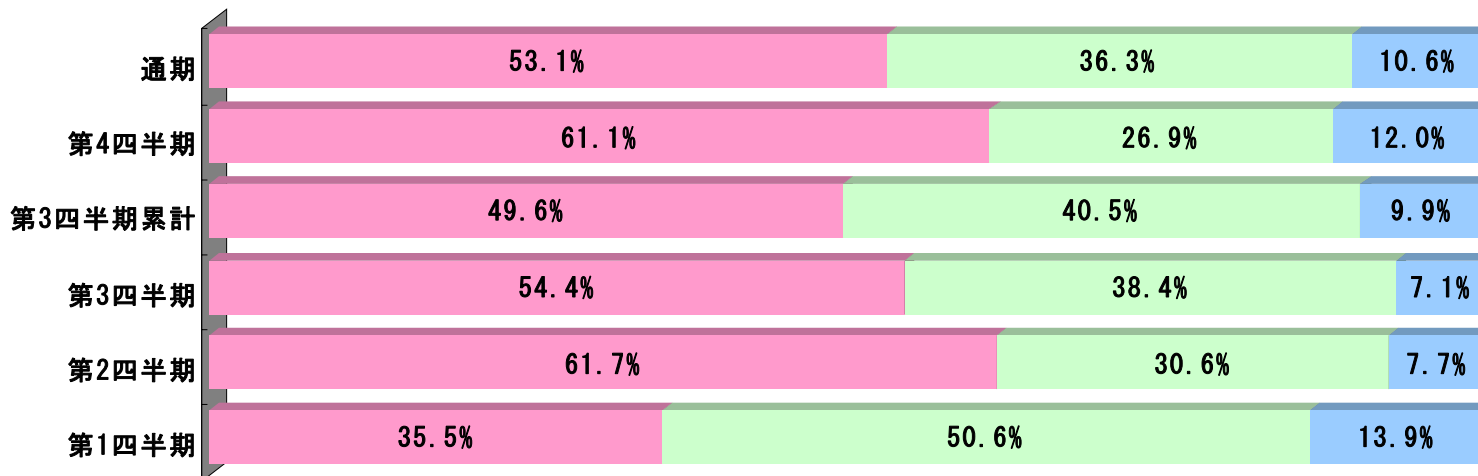


# [連結] ライセンス契約別売上高シェア

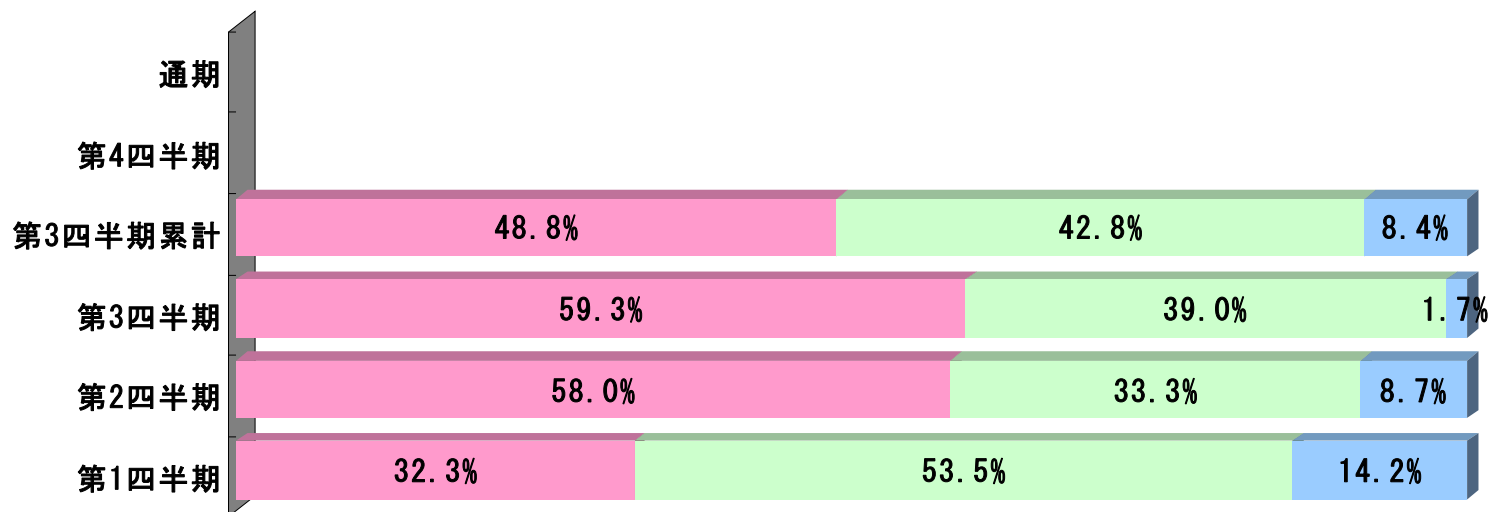
CYBERNET

07.3

■ 一括ライセンス契約 ■ 保守／更新契約 ■ レンタル契約



08.3



# 連結各社の第3四半期期損益（2008年3月期）

CYBERNET

（単位：百万円）

	売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比	経常利益	前年比	計画比	純利益	前年比	計画比
サイバネット	13,038	114.1%	99.5%	1,451	102.5%	112.5%	1,584	97.4%	120.0%	768	82.3%	116.3%
ケイ・ジー・ティー	1,496	96.8%	101.9%	△ 25	—	—	△ 7	—	—	△ 12	—	—
プラメディア	182	117.2%	108.7%	△ 5	—	—	△ 5	—	—	△ 5	—	—

## （株）ケイ・ジー・ティー

- ①可視化分野は、医用画像ソフトウェアの販売が堅調に推移しました。
- ②IT分野は、内部統制リスク管理システムが第3四半期に入り短期的な踊り場を迎えましたが、概ね堅調に推移し、収益に貢献しました。
- ③当第3四半期の業績は、計画経常損失81百万円を上回り、経常損失7百万円となりました。
- ④前年同期比での売上減少の原因は、昨年9月にウィルス対策ソフトウェアにおける大口顧客との取引を失ったものですが、他商品への人的リソース転換により、収益の改善が図れました。

## （株）プラメディア

- ①今後、自動車関連を中心としたプラスチック解析の需要拡大に向け、自社開発ソフトウェアの大幅な機能アップを目的とし、3ヵ年計画で開発に着手し、順調に進んでおります。
- ②サイバネットとの連携により、受注、引き合いが増加し、売上高は前年同期比で17.2%増となり、計画経常損失15百万円は改善し、経常損失5百万円となりました。



- ◆ The MathWorks社（MATLABの開発元）との販売代理店契約が2009年6月30日を以って終了します。
- ◆ 2009年6月30日までは、開発元と協力し、MATLABのライセンス販売の拡大に努めますので、2008年3月期業績および2009年3月期業績への影響はありません。
- ◆ 2010年3月期は、売上高への影響を受けますが、業務移管協力への対価を得るため、純利益への影響は小さいものと予想しております。

- ◆ 2009年7月以降のMATLABライセンス販売による収入収益の減少は、これまで取り組んできました以下のビジネスの成長を加速させることにより補い、早期に業績を回復するべく努めてまいります。
  - 既存主力プロダクトの更なる成長
  - 新規有力プロダクトへの資源投入により成長を加速
  - MATLABパートナープロダクトの販売
  - 受託開発・解析ビジネスを含めたサービスビジネスの拡大
  - 自社開発プロダクトの推進および海外展開
  - 中国子会社の成長および他アジア地域への展開

## 08.3Eの取組み

### 機械系

- ・電子機器熱設計支援解析ソフトウェア**ANSYS Icepak** (アンシス アイスパック)
- ・半導体パッケージ専用の熱解析ソフトウェア**ANSYS Icechip** (アンシス アイスチップ)
- ・プリント基板専用の熱解析ソフトウェア**ANSYS Iceboard** (アンシス アイスボード)
- ・寄生パラメータ抽出ツール**ANSYS Icemax** (アンシス アイスマックス)
- ・材料の設計や開発に効果的なマルチスケールCAEツール**Multiscale.Sim** (マルチスケールドットシム)
- ・プラスチック光学性能評価プログラム**AURORA PLEXUS** (オーロラ プレクサス)

### 制御系

- ・数式処理計算機能を持つMapleと汎用シミュレータであるMATLAB/Simulinkの統合を可能にした**BlockImporter™ for Simulink** (ブロックインポーター・フォー・シミュリンク) **BlockBuilder for Simulink™** (ブロックビルダー・フォー・シミュリンク)

### 光学(照明)系

- ・有機ELやLED、フォト・オプト、ソーラセル等の光学半導体デバイス解析するシミュレーションソフトウェア**setfos**(セトフォス)

### エレクトロニクス系

- ・IBIS (アイビス) モデルの可視化、補正、新規作成が可能な**IBISBuilder/IBISIndicator** (自社開発)
- ・プリント配線板上の不要電磁波によるノイズ発生を抑制するためのルールチェック及び簡易シミュレーションを行うツール **DEMITASNX®** (デミタス・エヌ・エックス)
- ・ケイデンス社製プリント基板設計支援ツール**Allegroシリーズ** (アレグロシリーズ)

### その他

- ・建築土木分野 統合ソフトウェア**ROBOT Office** (ロボット オフィス)

## CAE ツール

## ものづくり 支援 ツール

- ・3次元CADユーザに対して公差解析のソリューションを提供する**CE/TOL 6σ** (シーイートル シックスシグマ)
- ・製品イノベーション支援ソフトウェアの**Goldfire Innovator™** (ゴールドファイアー・イノベーター) と **Goldfire Researcher™** (ゴールドファイアー・リサーチャー)

## インフラ 整備にお けるIT ソリュー ション ツール

- ・内部統制リスク管理システム**Ci-Tower** (シーアイタワー)
- ・統合型セキュリティパッケージ製品**Kaspersky** (カスペルスキー)
- ・企業のモバイルユーザ向けに「セキュア」かつ「シンプル」なソリューションを提供する **Fiberlink** (ファイバリンク) サービス
- ・PCライフサイクル管理ソリューション**WinINSTALL** (ウィンインストール)
- ・PC操作マニュアル作成支援ツール**epiplex Lite** (エピプレックスライト)

第23期（2008年3月期）

# 通期業績予想

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

# 業績予想

CYBERNET

[連 結]

(単位：百万円)

	07.3	08.3E	売上比	前年比
売上高	18,998	21,500	100.0%	113.2%
営業利益	2,540	2,640	12.3%	103.9%
経常利益	2,827	2,720	12.7%	96.2%
当期純利益	1,516	1,732	8.1%	114.2%
1株当たり期末配当金(円)	900	900	—	0.0%
1株当たり年間配当金(円)	1,600	1,600	—	0.0%

[個 別]

(単位：百万円)

	07.3	08.3E	売上比	前年比
売上高	16,604	19,000	100.0%	114.4%
営業利益	2,543	2,660	14.0%	104.6%
経常利益	2,802	2,700	14.2%	96.4%
当期純利益	1,493	1,453	7.6%	97.3%

業績予想について

- (1) 当業績予想における原価算入為替レートは118.0円/ドルです。
- (2) 当期為替予約状況は、平均約115円/ドルで想定送金額の約80%相当額となっています。



# 参考資料（個別業績情報）

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

- ◆ 名 称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部4312)  
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本 社 : 東京都千代田区神田練塀町3
- ◆ 支 社 : 西日本支社 (大阪)、中部支社 (名古屋)
- ◆ 設 立 : 1985年4月17日
- ◆ 資 本 金 : 995百万円
- ◆ 社 員 数 : 2007年12月31日現在  
連結 450名  
個別 357名
- ◆ 事業内容 : C A Eソリューション及びITソリューションの提供、各種  
コンサルティングの提供
- ◆ 子 会 社 : 連結 (株)ケイ・ジー・ティー  
(株)プラメディア  
非連結 西希安工程模擬軟件 (上海) 有限公司 (略称 : C C A)  
莎益博設計系統商貿 (上海) 有限公司 (略称 : C C S)

## C A Eとは

Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験すること。

# [個別] 第3四半期の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3 第3四半期		08.3 第3四半期				
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	計画	計画比
売上高	11,424	100.0%	13,038	100.0%	114.1%	13,100	99.5%
売上総利益	4,449	38.9%	5,120	39.2%	115.1%	5,120	100.0%
営業利益	1,416	12.4%	1,451	11.1%	102.5%	1,290	112.5%
経常利益	1,626	14.2%	1,584	12.1%	97.4%	1,320	120.0%
第3四半期純利益	934	8.2%	768	5.9%	82.3%	661	116.3%

## (1) 売上高

第3四半期の売上高は全般的に堅調に推移し、計画をほぼ達成することができ（計画比99.5%）、前年同期比で14.1%増加となりました。

## (2) 収益

- ①第1四半期に実施した本社移転に関わる一過性費用および事務所経費が増加しましたが、経費圧縮により営業利益は前年同期比2.5%増益となりました。
- ②資金運用および為替差益により、為替変動リスクに対応しています。
- ③中間期において、子会社株式評価損272百万円を特別損失として計上しています。



# [個別] 販売費及び一般管理費

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3 第3四半期期	08.3 第3四半期期	増減	前年同期比	売上比	内容
人件費	1,461	1,589	128	108.8%	12.1%	増員+16名
通信費	120	119	△1	98.7%	0.9%	
旅費交通費	172	164	△8	94.9%	1.2%	
備品消耗品費	68	174	106	255.0%	1.3%	本社移転に伴う増加
募集採用費	61	59	△1	97.5%	0.4%	
教育研修費	40	36	△3	90.3%	0.2%	
地代家賃	172	453	280	262.3%	3.4%	本社移転に伴う家賃増加（月額 51: +30）
電算機等保守料	32	39	7	122.4%	0.3%	
減価償却費	75	139	64	185.3%	1.0%	本社移転に伴う新規取得固定資産の償却分
のれん償却	31	35	3	112.5%	0.2%	
広告宣伝費	372	373	0	100.1%	2.8%	
業務委託費	194	219	24	112.8%	1.6%	
支払手数料	124	150	25	120.9%	1.1%	本社移転関連+21
その他の経費	105	115	10	109.7%	0.8%	
合計	3,033	3,669	635	121.0%	28.1%	

## ■ 広報室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3	富士ソフトビル
電 話	03-5297-3066	
F A X	03-5297-3609	
Eメール	irquery@cybernet.co.jp	
ホームページ	<a href="http://www.cybernet.co.jp">http://www.cybernet.co.jp</a>	

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は、資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。